

## 仏教について

---

こんにちは、ナビゲーターの金子です。

お坊さん講話、その音声をこれから 30 回お届けしていきます。どうぞよろしく願いいたします。

ところで、仏教についての知識が全くないとすれば、いきなりお坊さんの話を聞いてもちんぷんかんぷんかもしれません。

ですので、お坊さん講話の前に、少し僕に話をさせて下さい。

仏教の歴史や、教え。

また、今回お話をして頂きます萩生寺の友巖和尚の紹介をしてみます。

ちなみに僕は 1968 年生まれ、愛媛県で自営業をしています。

仏教に関しては、自分の宗派さえよく知らなかったのですが、あるきっかけがあり仏教本を読み始めると面白く、気が付けば 108 冊読みまして、その整理にと、仏教についての電子書籍も出しました。

僧侶でも、仏教学をおさめたわけでもありませんので、諸先輩方のいろんなご指摘もあろうかと思いますが、素人の整理、気付きならではの良さもあるだろうと、大目にみて頂ければ幸いです。

それでは、今回は仏教の全体観についてお話してみます。

キリスト教、イスラム教、仏教が世界三大宗教と言われます。

西洋的な感覚からすれば絶対神を信じない仏教を「宗教でない」とか「悪魔の宗教だ」と言う人もいますが、

「超越的な存在を信じること」を宗教と考えることもできて、であるならば「縁起」や「空」を説く仏教は立派な宗教です。

20 世紀には非単調論理や不完全性定理によりこの世に絶対的なものはないと証明されました。

難しい話は省きますが、それは仏教の「縁起」や「空」の概念に通じます。

それもあってか、物理学の成果を知る西洋人の間で、仏教ブームがおこっています。  
マイクロソフト元 CEO のスティーブ・ジョブズが禅を愛したのは有名な話しです。

その仏教はご存知の通り、約 2500 年前にインドで起こった、釈迦を開祖とする教えです。

釈迦の教えは宗教というよりも、人生の哲学、思想であり、生きるための智慧でした。  
人間はどうすれば悩み苦しみから解放されるのか？  
世界の理（ことわり）はなにか、世界と人間はどう関わりをもっているのか？

これらを深い瞑想を通して、35 才のときに悟りました。

その教えについては次回、紹介してみます。

釈迦は真理を悟った後、80 才で亡くなるまで教えを広く説いてまわりました。  
ところで経典は書いていません。

「対機説法」といって、その人の能力や素質に応じて分かりやすい表現や内容で説法をしました。

臨機応変な話は、弟子たちによって様々に解釈をされる原因となり、釈迦が死んだ後、多くの宗派が生まれます。

例えば、1 世紀頃に中国に伝わった際は、土着の儒教や道教の思想を取り込みながら 3～5 世紀にかけて中国仏教として大成します。

日本には 6 世紀、その中国仏教が伝来しましたが、日本国内においても、歴史のなかで様々な変化し、

現在、仏教宗派は 13 宗 56 派があると言われています。

と、仏教の起こりや変遷をざっくりと見てきましたが、仏教学を学びたいわけではありませんよね。

大切なのは、仏教がどう人生に役立つのかということでしょう。

今回は釈迦の教えについてお話してみます。